

熊野米のブランド化と加工品開発・販売 (株式会社たがみ)

＜法人の概要＞

所在地：和歌山県田辺市

設 立：平成25年5月

資本金：300万円 売上高：1億円（平成26年）
（うち農業収益：米40俵）

役 員：2名（うち農作業従事2名）

従業員数：5名、うち農業従事者2名

経営面積：3ha 営農作物：水稻

農業開始時期：平成25年11月



代かき、田植え作業等

＜農業参入に至った経緯・動機＞

地産地消の推進や地域の食材のブランド化を考え、農商工連携事業（熊野米プロジェクト）に取り組み、平成25年5月に田上米穀店から株式会社たがみとして法人化を行った。加えて、同事業を推進する中で、農家の栽培の苦労等を知るために約40aの農地を借受け、米の栽培を開始した。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

農地は、「熊野米」のブランド化に取り組んでいた農家から借り受けることで確保し、営農指導も同事業連携農家から受けたところである。しかしながら、直ちに熊野米として販売できる様なものではなかった。

また、実際の農地の借受けのための手続きは大変に面倒であることがわかり、更なる規模拡大はあきらめようと考えていたところである。

なお、営農当初は、実績もなく新規参入者であることから地域のルール、特に水利組合との調整が難しく水確保に苦労したところである。

<営農開始から現在まで>

平成26年に農地中間管理機構を活用し2.5haの農地を借入れ規模拡大を図ったところである。

参入当初は、農地の借受け手続きが面倒であることがわかり規模拡大をあきらめかけていたが、農地中間管理事業を知人から知り、直接農地中間管理機構に連絡をしたところ、親切に対応していただいた。

更に3ha程度の農地を借り受けたいと考えている。

また、熊野米のブランド化や熊野米リゾットの商品開発にも取り組み「フードアクションニッポンアワード」で入賞するなど高い評価を得ている。

<今後の農業経営の展開方向>

平成27年に農地中間管理機構を通じさらに3haの規模拡大を目指すとともに認定農業者になる予定である。

経営規模は、最終的には10ha程度まで拡大したい意向である。

また、加工品の開発や商談会への積極的に参加して行きたい。

将来的には、体験農園、田んぼアートや食育なども実施していきたいと考えている。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

栽培した生産物を販売する出口の確保ができていなければ経営は成り立たない。

また、地域のルールはきっちり守り、地域の行事にも積極的に参加することが重要です。



熊野米・熊野米リゾット



商談会の様子